

一関工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英語表現Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号		0086		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		未来創造工学科（一般科目）		対象学年		3	
開設期		後期		週時間数		2	
教科書/教材		trasfer B（桐原書店）					
担当教員		酒井 紀行,佐々木 智巳					
到達目標							
基礎的な語彙・文法力を養成し、読解力の向上を図る。 【教育目標】 A							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 文法力		殆すべての内容を理解できる。		ある程度の知識がある。		ほとんど理解できていない。	
評価項目2 語彙力		ほとんど全ての語彙を暗記している。		大体の語彙を理解している。		ほとんど定着していない。	
評価項目3 読解力		殆すべての内容を理解できる。		大体の内容がつかめる。		内容があまり理解できていない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		高校標レベルの語彙・文法力の確実な理解を通して、主に読解力の向上を図る。					
授業の進め方・方法		最初に授業で指定された読解のパートの設問、および重要文法・語句についての解説を行う。その後、文法・語句の知識についての演習問題を解き、重要な文法と語句の知識の定着化を図る。					
注意点		授業で学んだことを提出ノートなどを利用して、自学自習して定着を図る。 【事前学習】予め、学習する内容の中で、分からないことを辞書を用いて調べておくこと。 【評価方法・評価基準】試験 1 0 0 %で評価する。レポートの提出を求めることもある。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	イントロダクション		授業の到達目標について理解できる。		
		2週	Unit1		動詞の時制について理解できる。		
		3週	Unit 2		現在完了形の作り方を理解できる。		
		4週	Unit3		注意すべき助動詞表現について理解できる。		
		5週	Unit4		受動態の書き換え、 b y 以外の表現について理解できる。		
		6週	Unit5		不定詞の 3 用法、動名詞の様々な形について理解できる。		
		7週	Unit6		不定詞・動名詞の注意すべき使い方について理解できる。		
		8週	Unit7		分詞を使った表現を理解できる。		
	4thQ	9週	Unit8		who, whichの使い方を理解できる。		
		10週	unit9		省略できる関係代名詞について理解できる		
		11週	Unit10		比較級・最上級について理解できる。		
		12週	Unit11		5 文型について理解できる。		
		13週	Unit12		間接疑問の作り方と語順について理解できる。		
		14週	Unit13		接続詞の意味と使い方について理解できる。		
		15週	Unit14, 15		代名詞・前置詞を使った表現を理解できる。		
		16週	期末試験と達成度の評価				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。		3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。		3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。		3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。		3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。		3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。		3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。		3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。		3	

				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
		英語運用能力向上のための学習		自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0